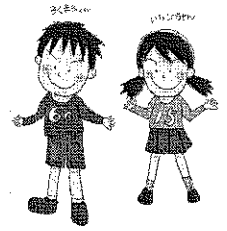




津山市教委 かわら版



—津山市教育委員会だより— 平成24年3月〈第9号〉

教育委員長
就任「あいさつ」



岸本伍郎
教育委員長

市民の皆様には、教育行政の推進に対しご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。昨年12月27日付で教育委員長に選任され、その使命と責任の重大さを強く感じているところです。

「つやま市教委 かわら版」は、津山市教育委員会の活動や施策を広く皆様に知っていただくために、平成21年度から、年3回学期ごとに発行し、3年が経過しました。

教育は、人格の完成を目指し、人それぞれの持つ多様な個性や特性をいかし、自立した人間を育て、すべての人が豊かで幸福な人生を送る上で必要不可欠なものです。そして、地域づくりに参画・貢

献する人材を育成する上でも重要です。また、地域の中で継承されてきた伝統や文化は、先人達が残してきた財産として、教育を通じて次世代に伝えられ、より豊かなものへと発展させていかなければならない使命があります。

津山市教育委員会では、平成23年度の教育基本目標として、

『ふるさとを愛し心豊かにたくましく 未来を拓く津山の人づくり・まちづくり』

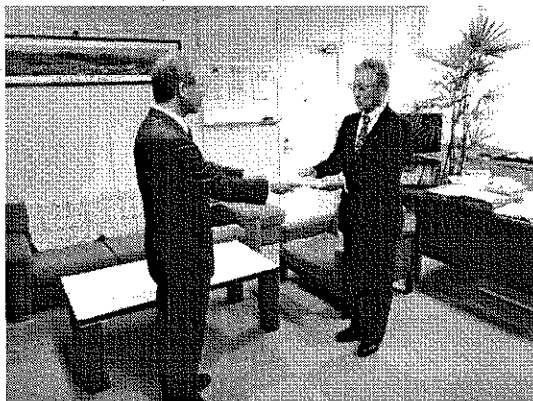
を掲げました。各部署がそれぞれの計画・ビジョン等に基づき、また、お互いが連携して着実に推進しています。



「津山市教育振興基本計画」を策定しました

津山市教育委員会では、平成24年2月に「津山市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画は、津山市教育振興基本計画検討委員会（委員長 松岡美作 大学教授、委員10名）で検討を重ね、作成された提案書を1月16日に津山市教育委員会に提出いただき、それを基に策定したものです。計画は、今後の我が国を担っていく子どもたちの育成



を図り、豊かな自然環境や歴史・文化遺産等の教育資産をいかした、津山市ならではの教育施策を推進するため、進むべき将来の姿を明らかにして、平成24年度から5年間に重点的に取り組むべき施策の基本的方向等を示すものです。

基本理念を、

『「つなぐ力」を育む
あなたとわたし、
学校・家庭・地域、
そして世代を超えて』

としました。計画の概要は、次ページに記載しています。

平成23年度
津山市立小中学校卒業式

ご卒業おめでとうございます。

○卒業式・卒業生数

小学校

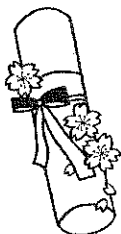
卒業式 3月22日(木)

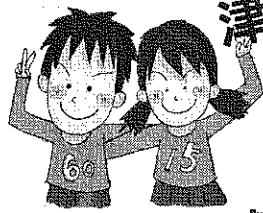
児童数 一、〇二二名

中学校

卒業式 3月13日(火)

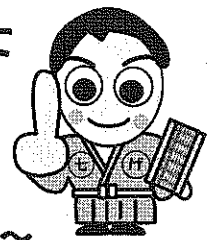
生徒数 一、〇四〇名





津山市教育振興基本計画を策定しました

「つなぐ力」を育む



～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～

☆津山市教育振興基本計画ってなに？

1 どんな計画？

津山市が目指す教育の基本理念や目指す人づくり、教育目標、今後5年間で取り組む各分野での基本的な方向等を示す計画です。

2 計画の期間は？

平成24年度から平成28年度までの5年間です。

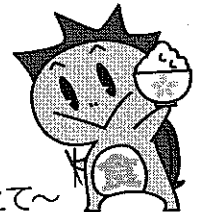
3 計画の範囲は？

この計画は、就学前・義務教育、家庭教育、社会教育の範囲です。

ただし、県立・私立の学校で行われる教育内容や学校経営等については、各校の独自性から本計画には含んでおりません。

○津山市教育基本理念

「つなぐ力」を育む ～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～



「つなぐ力」は、個人の学びから一歩踏み出し、学びの成果を広く社会の中に活かすことのできる基礎となる力でもあり、長い歴史に裏打ちされた、子どもたちを育てていく地域社会そのものともいえます。

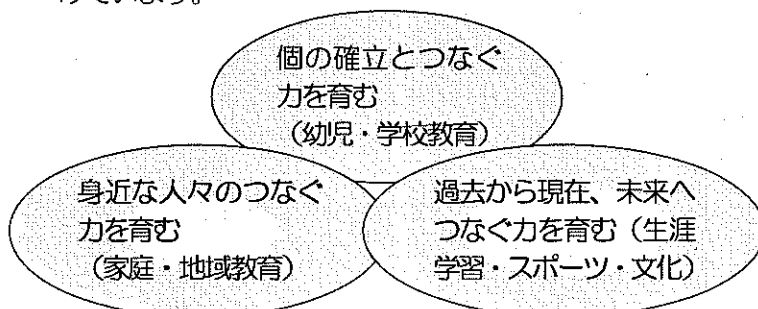
「あなたとわたし」という点から、「学校・家庭・地域」の面へ広がり、「過去から未来」へと時を超えて、様々なものがつながりあい、笑顔があふれ、いきいきとした津山らしい社会の実現を目指します。

○津山市の教育が目指す人づくり

- (1) 国際社会を生き抜くため、確かな学力を身につけ、生涯にわたって向上心に燃え、自分自身の道を切り拓く人
- (2) 心身ともに健康で、自己を認め、互いの人権を尊重する、豊かな人間性を備えた人
- (3) 愛情あふれる家庭を築き、人や地域とのつながりを大事にし、自己の力を地域に活かし、いきいきと活動することができる人
- (4) 津山の自然・歴史・文化・社会をかけがえのないものと感じ、郷土に誇りをもって次代に伝えることができる人

○教育基本目標

「つなぐ力」を備えた人づくり・まちづくりを目指すため、下記の項目を3本柱として、基本目標を掲げています。



詳しくは、津山市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>

クローズアップ 市教委

「江戸一目図屏風」

の景観が、

二百年を経て

現実になる

平成24年5月22日にオープン予定の東京スカイツリー。その展望台からの景観は、今から二百年前、津山藩お抱え絵師鵜形蕙齋が描いた江戸鳥瞰図の傑作「江戸一目図屏風」の視点と一致すると言われています。そして、地上350メートルの展望台には、「江戸一目図屏風」の複製が展示されます。

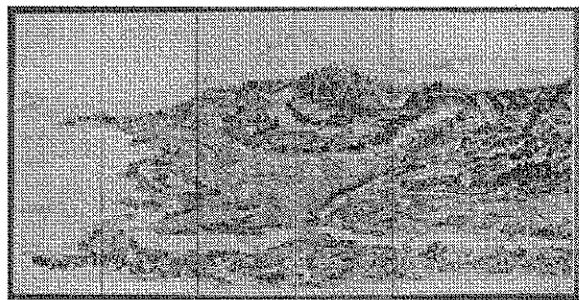
このことが、メディアを通じて一般に広く知られるようになったため、江戸の景観を描いたこの屏風が、今、改めて注目を集めています。

「江戸一目図屏風」は、鵜形蕙齋が、文化六年（一八〇九年）に描いた江戸の景観図です。画面中央に江戸城を置き、その背後には富士山、そして左に江戸湾、下方に隅田川を配するなど、隅田川東部

の上空から鳥になって見渡したような鳥瞰図として、極めて写実的に見えるように描かれています。

屏風全体に広がる大画面には、江戸城内の大名屋敷や巨大都市江戸の町並みを初めとして、日本橋や両国橋、上野の寛永寺、雷門で有名な浅草寺、それに遊郭の新吉原など、地方の人々にもよく知られた江戸の名所を中心として、実に20ヶ所以上もの名のある場所が、四季の彩りを添えて描き込まれています。

この「江戸一目図屏風」が登場するまでの「洛中洛外図屏風」や「江戸図屏風」では、



様々な伝統行事や名所を同一の画面上に配置してあるものの、時間や空間の矛盾を自然に解消することができず、不連続な部分をたなびく金雲によって処理していました。

しかし、蕙齋の「江戸一目図屏風」では、巧みな遠近感と画面構成の妙により、実際には距離も方位も少しずつ異なるそれぞれの部分を、違和感を感じさせることなく自然につなぎ合わせており、江戸時代を代表する新しい都市景観図の傑作として高い評価を得ています。

更に、現在では美術的な価値のみならず、風俗や建築、そして歴史的な都市景観の研究資料としても注目されています。

津山郷土博物館では、今後も大切に保存しながら、多くの皆さんに楽しんでいただけるよう、努めていきます。

なお、作品保護のため、「江戸一目図屏風」の複製を、常設展示しています。実物の展示日程に関しては、お問い合わせください。

○津山郷土博物館

場所 津山市山下92

電話 2214567

津山市版 「食物アレルギーの 手引き」を作成

近年、児童生徒のアレルギー疾患の増加傾向が見られ、国において「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が策定されました。

児童生徒が健全な学校生活を営むためには、学校関係者を保護者、児童生徒が食物アレルギーについて正しい知識を持ち、対応していくことが必要です。そのため、津山市教育委員会では、医師、教育関係者、栄養教諭等の協力により、津山市版「食物アレルギーの手引き」を作成し、学校へ配布するとともに津山市ホームページに掲載しました。

この手引きでは、児童生徒が教職員や保護者と一緒に食物アレルギーを学べるように工夫しており、将来、大人になったときにも家族、友人、同僚の病気に適切に対応できるようにになって欲しいと期待しています。

(HPアドレス

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>
ホーム→市政→教育)

岡山湯郷Beile 読み聞かせ

第11回図書館まつりが開催され、1月28日に岡山湯郷Beileの選手による読み聞かせを行いました。ゴールキーパーの福元美徳選手やディフェンダーの安田邦子選手、ミッドフィルダーの中野真奈美選手ら3人が、「たまごねえちゃん」や「わにわにのおふる」などの絵本を読み聞かせし、親子連れら約100名の方々が聴き入っていました。また、サイン会や写真撮影もあり、参加者はあこがれの選手たちとのふれあいを楽しんでいました。



**津山における
就学前教育・保育カリ
キュラムの作成に
取り組んでいます**

平成22年3月に「津山市における幼児教育の理念と展望」が定められました。この「理念と展望」に基づいた保育・教育を実践するために、津山市内の公立・私立保育園(所)・幼稚園の関係者が共に「津山の子どもを育てる」という認識に立ち、「津山市における就学前教育・保育カリキュラム」を作成することとなりました。

また、平成23年度に策定された「津山市教育振興基本計画」の重点取組として、幼児教育の質の向上、就学前教育と小学校教育の連携等を促す事業として示しています。これらは、乳幼児の「発達に合った育ちや学びの連続性」を踏まえて、小学校へつなぐ取組として意義の高い取組です。そして、平成23年10月には、美作大学松岡信義教授を会長とし、各関係団体の代表で構成された「カリキュラム作成委員会」を立ち上げ、方

向性を明らかにし、平成24年2月には各保育園(所)・幼稚園の代表44名によるカリキュラム作成作業部会が立ち上げられました。

平成24年度は、「カリキュラムを津山市の乳幼児保育・教育に携わる者みんなで作ろう」とカリキュラム作業部会において、具体的に作成していきます。平成25年2月の完成に向けて、保育園(所)と幼稚園がこれまで以上に連携を深めて取り組めます。

この取組と実践によって「津山市の育てたい子ども像」として、「健康な心と体の子ども」「自信をもって他者との信頼の中に生きる子ども」「命と自然を尊ぶ子ども」「豊かな情操と賢さを身につけた子ども」を目指します。

**第40回
つやま市民スポーツ祭
を開催しました**

午前9時の津山消防音楽隊の演奏を合図に第40回のつやま市民スポーツ祭が、秋晴れの津山陸上競技場を主会場に開催されました。子どもたちから、お年寄りまで楽し

めるプログラムに多くの市民の皆さんが、開会式に参加してくださいました。消防音楽隊の演奏にも一層力が入っていました。開会式に望んだ役員の手拍子にも力が入り誰もが目を細められていました。これまでの苦労がうかがえ胸が熱くなりました。



第40回スポーツ祭の開催にあたり、今回は、津山消防音楽隊・美作大学の「ダブルダッチ」・「当地アイドル「Saku Love」のイベントを開催いたしました。

さらに、中学校区を単位とした小学生から大人までの16名で構成されるリレーを組み合わせました。消防音楽隊には、開会式よ

り行進曲や迫力ある生演奏を聞かせていただきました。美作大学の「ダブルダッチ」では、学生による息の合った大縄跳びを利用してのパフォーマンスに感動しました。当日は、好天に恵まれプログラムも順調に進められ、色々な種目に臨まれた市民の皆さんも笑顔と歓声の中で気持ちのいい汗を流していました。

「当地アイドルの「Saku Love」には、競争目への応援や最後の抽選会のお世話で会場を華やかにしていただきました。

記念すべき大会までの道のりを振り返るとき、数多くの苦労があったと先輩方から聞くことができました。また、市民スポーツ祭が半世紀50回を迎えるころは、多くの取組が様変わりしていると思います。新たな目標に向かって前進していく実行委員会にエールを送ります。

**第62回
津山市成人を祝う会**

1月8日(日)に、津山総合体育館において、第62回津山

市成人を祝う会が開催されました。津山市の新成人一、〇七九名のうち、八五五名が出席し、成人への門出を迎えました。



発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育部教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112 (直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp

教育委員会関係課：
教育総務課 学校施設課 学校教育課 保健給食課
生涯学習課 図書館 文化課 スポーツ課 こども課